

誰もが安心して暮らすことのできる浦添市を目指して!

～『認知症地域支援体制構築等推進事業』で取り組んだこと～

浦添市は、平成20年度から沖縄県の委託を受けて「認知症地域支援体制構築等推進事業」を2年間のモデル事業として実施しました。この事業では、認知症の高齢者やその家族を住み慣れた地域で支えるために、認知症の予防、早期発見、介護ケアなどに関係する人材や拠点を「地域資源」としてネットワーク化し、相互に連携しながら支援体制づくりを取り組んできました。

この取組の一環として、認知症に関する正しい知識の普及を図るため、広報うらそえで「シリーズ正しく知ろう認知症」を連載し、認知症の基礎知識や予防、介護サービス、相談窓口などについて分かりやすく紹介してきました。

最終回では、2年間の取組状況を報告するとともに、本市における今後の認知症施策について紹介します。



認知症地域資源マップでサービス情報を発信

平成21年5月から運用している「認知症地域資源マップ」は、浦添市内の医療機関やデイサービス事業所、相談窓口などといった認知症に関する様々な情報を、地図情報として整理したもので、認知症の人を介護している方に対し問題解決の糸口を提供するものです。

地域資源マップは、事業所などの名称や住所の一部を入力するだけで検索できたり、中学校区ごとの地域別、サービスや機関の種類別で検索できたりと、様々な検索機能が充実しています。市ホームページのトップページからアクセスが可能です。

認知症地域資源マップの画面イメージ



介護職員・サービスの更なる向上を目指す

介護サービスの質の向上を目的に市内の認知症グループホーム※2を対象とした職員研修会を実施し、認知症についての理解を深める機会を提供しました。

研修会の後に、グループホーム職員連絡会が結成され、定期的な情報交換や勉強会の開催へと活動が広がっています。

※2 認知症グループホームとは、認知症の人を対象として居室、居間、浴室などを備えた家庭的な雰囲気の中、少人数で共同生活を送りながら日常生活の介護を受けられる事業所のことです。



▶認知症フォーラムinうらそえ

フォーラム・講演会を開催

市民が認知症について直接学び考える機会を提供するために、認知症ケアの第一人者である長谷川和夫氏を招いて「認知症フォーラムinうらそえ」を開催しました。このフォーラムは、市内で認知症ケアに取り組んでいる関係者や認知症の人の家族と共に市民参加型で行われ、約900名が参加しました。

また、より多くの市民に学び考える機会を提供するため、認知症専門医による「もの忘れ講演会」を中学校区ごとに全9回開催し、延べ502名の参加がありました。

「家族のつどい」を開催

認知症の人を家族の立場で介護している方同士が、互いの認知症介護についての相談や悩みを話し合い、交流を図ることを目的に、「認知症の人の家族のつどい」を開催しました。



▶認知症の人の家族のつどい

認知症に限定した「家族のつどい」の開催は、浦添市として初めての試みでしたが、22名の参加がありました。アンケート結果からも「参加して良かった」「自分だけが悩んでいるわけではないことが分かって良かった」「話すことで気が楽になった」「毎回参加できるか分からないけどできる限り参加したい」などの声があり、今後も継続して



▶認知症専門医による「もの忘れ講演会」

認知症サポーター2100名が誕生!

専門医等の講演会と並行して、認知症キャラバンメイト※1による市民を対象とした「認知症サポーター養成講座」の開催も推進してきました。認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではなく、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り応援する人です。



認知症サポーター養成講座の様子



2年間で55回の養成講座を開催した結果、この事業に取り組む前は一人もいなかった。

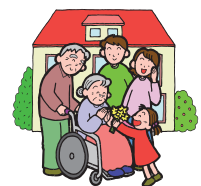
モデル事業終了後も認知症施策を推進

取組んでいく必要性が明らかとなりました。

沖縄県からの委託事業としての「認知症地域支援体制構築等推進事業(モデル事業)」は、平成22年3月末で終了しました。本市では、この2年間で取り組んできた成果を引き継ぎ、より多くの市民が認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支えることができるように、普及啓発活動を推進していきます。

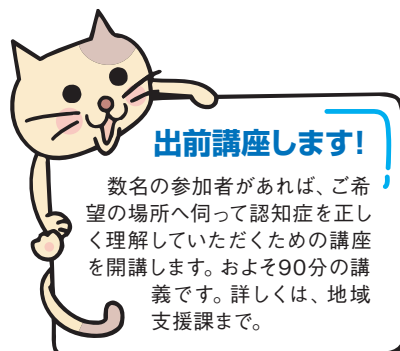
また、認知症の人の家族が、孤立せずに互いに支え合うことのできる環境づくりを支援するために「認知症の人の家族のつどい」の開催を継続していきます。

さらには、様々な取組で育成した認知症介護にかかわる人材のネットワーク化を図り、認知症になっても住み慣れた地域の中でこれまでどおり安心して穏やかに生活していく



認知症サポーターが、平成22年3月1日現在で2100名まで増え、地域において認知症の人とその家族を見守り支援する活動が始まっています。

※1 認知症キャラバンメイトとは、認知症サポーター養成講座の講師役となる人で、所定の研修を修了し、ボランティアの立場で務めます。本市では、認知症キャラバンメイトの養成研修を県内市町村の中でもいち早く開催し、28名が誕生しました。今後は地域における認知症の普及啓発推進に活躍が期待されます。



ことのできるまちづくりを推進していきます。

高齢化が進むなか、65歳上の10人に1人が認知症になっていると言われています。

そのうちの7割の人が、自宅で家族の介護を受けているとも言われています。

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けるために、それぞれの立場で、自分にもできる、ちょっとしたことから始めてみませんか。地域支援課では、そんなあなたの活動を支援します。

問い合わせ

地域支援課

支援センター係

☎ 0876-11234

(内線3541・3542)